

# 2018年8月5日 主日礼拝（洗礼式・聖餐式・誕生祝福式）

プレイズ

奏 楽

賛 美

聖歌475番「主イエスのみそばに」

（心に感謝を持ちながら）（イエスイエス聖なる主）

主の祈り

聖 書

①創世記1章1～5・26～28節(p.1)

②ローマ人への手紙 5章1～5節(p.238)

音 楽

エタニティ(宮川姉・竹下姉))

証 詞

①岡村サレム兄(学生会)

メッセージ

①「ジェラシック・チャーチ1・創造論と進化論」

倉知契福牧師

②「私たちは平和を持っています！」大川従道師

We have peace with God

賛 美

「イエスのみうでに」(495番・献金・東京伝道のため)

頌 栄

「アーメン・主にハレルヤ」アーメン

祝 禱

聖餐式

「あなたがたは、できる限り

すべての人と平和に過こしなさい。」

(ローマ十二の十八)

## 【町田ニュース】

- ・ 先月の国際飢餓対策への募金は3,470円でした。感謝します。
- ・ 本日午後5時から東京カルバリーチャペル。説教は岸牧義紘師。
- ・ 火曜日、大和の早天祈禱会で大塚師が説教(Y)お祈りください。
- ・ 朝6時から「早天祈禱会」が祝されています(今週は月、水、木、金、土)。火曜日以外。お間違えないように。
- ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜は久保田伝道師、木曜朝は小林伝道師、金曜夜は梅津伝道師が説教。
- ・ 今週も宿題に従って、聖書通読・Q.T.しましょう。



## 畑の中の宝物

現在、私たち夫婦は将来、近い将来里子を育てることを考え、里親研修を受けている。里親実習として、先月は0～2歳の乳児園に、今月は3～18歳(或いは20歳)が生活している児童養護施設に通っている。そこには、事情があって育てることができない親の子どもたちが生活している。

施設に入る理由は、虐待(心理的虐待が主)、家族の疾患(精神的疾患含む)、離婚や別居、服役、経済的困窮等。一つの理由でなく、複合的に絡んでいることが多い。

どんな親でも子育てが不能となる可能性はあることからすれば、このような施設は縁のないものでなく、また自分の子を預けるなら良いものであることに越したことはない。

施設で育てられた子供、と聞くと、どんなイメージを持つだろうか。「親を知らない子供、親に捨てられた子供、大集団の中で育てられ自分の価値を知らない子供」、私にはそのようなイメージがあった。しかし、実際には、ほとんどが実親が存在し、定期的に交流をもっている。少人数(5人以下)制で、私の体験した施設は、両方も新築マンションのような美しい環境で生活していた。目からうろこ。先入観が良い意味でくつがえされた。

子どもたちは普通の家庭のように、部屋でカブトムシや金魚を飼ったり、テレビやゲームができたり、個室も与えられ、習い事や部活動に精を出す子供も多い。それぞれのユニットで、担当職員が手料理を作ってくれ、買い出しや料理を子どもが手伝うこともある。各ユニットには男性職員と女性職員が配置され、家庭的環境が作られるよう工夫されており、一見とても恵まれた環境にあるように見える。子どもたちもそれぞれの個性はあるものの、普通の子どもと変わらなく見える。問題はもっと目に見えない内面的な所にあるのだろう。

おとし、国が方針を変更し、施設養護から家庭養護へ移行するように目標を打ち出した。具体的には養護施設をなくし、すべての子どもが養子縁組か里親に委託され家庭的環境の中で養育するようにする。その理由は、施設養育ではどうしても複数の職員が交代で見ることになり、父親像・母親像・家庭像を築くことが困難で、それは子どもの将来を考えると致命的な欠陥である。施設の限界・弊害というものを国も認めた上での判断である。

そして、それを実現するためには、現在の約3倍以上の里親が必要となる。実親の元に戻ることがベストだが、できない場合のセカンドベストとして特別養子縁組や里親制度が普及するよう祈り協力していきたいと思っている。是非、このこともお祈りください。大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ローマ6章～11章 Bコース:詩編75篇～92篇